

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 松本 恭一

副会長 金島 弘

幹事 小林 昭弘

会計 金子 芳則

2017-2018年度 RIテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長 イアンH.S. ライズリー

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2989号（2018年4月18日発行）

今週のプログラム

「母子保健事業について」

銚子市役所健康づくり課 保健師 山田紀美代様

前回例会報告（4月11日）

花見移動例会：猿田神社 社務所

点 鐘：松本 恭一 会長

ロータリーソング：我等の生業

四つのテスト唱和 ビジターなし



ソングリーダー



櫻井 SAA

会長挨拶



今日は春の嵐になってしまいましたが、今年で4回目になります恒例の花見例会です。永澤委員長始め親睦委員の皆様、早い時間より準備

御苦労様でした。また猿田会員におかれましては、毎年この時期に場所を提供していただき、卓話をお願いしております。今回も御厚意に甘えさせていただきました。重ねがさね御礼申し上げます。

この一週間ですが、6日（金）市役所で春の交通安全出発式がありまして10名の参加をいただきました。また7日（土）は、千葉科学大学の入学式がございました。

さて、本日は歴史と伝統があります猿田神社で例会を行いますので、今世間を賑わせております「大相撲の土俵と伝統」というテーマでお話します。

まず、日本は世界で最も歴史の長い国ですので、伝統と名の付くものはたくさんあります。そして日本人はとても伝統を大切にしている国民であります。大相撲の土俵は女人禁制だ、という伝統をどう考えるかについては、柔道がカラー柔道着（すなわち白と青の柔道着）を認めたいきさつが参考になるかと思えます。

これは、1988年、ヨーロッパ柔道連盟（EJU）が、「柔道着は白かオフホワイト」というルール改正を求めたのが始まりです。日本は「伝統と文化」、すなわち白は柔道の本質である清い心の象徴である、と主張し反対をし続けました。その後紆余曲折ありましたが、1997年10月、国際柔道連盟（IJF）が導入を決定し、翌年9月のワールドカップでカラー柔道着が初導入されました。今から20年前、最初の提案から10年後の事です。

このことについて、柔道家の山下泰裕氏は後



ロータリー
変化をもたらす

第2790地区
ガバナー 寺嶋 哲生（柏RC）

広報・会報委員会 委員長 副島 賢治
副委員長 遠山 靖士 委員 大岩 将道

に語っています。「カラー柔道着の導入は柔道の本質を脅かすものではない。導入は世界に柔道が普及する為には、避けて通れないことだ」。これは、柔道の創始者・嘉納治五郎の「伝統とは形を継承することを言わず、その魂その精神を継承することを言う」という伝統観に通じるものがあります。これにより、柔道では誤審が減り、観客にも見て分かりやすくなり、何より地味な柔道が華やかになり、世界でも日本においてもファンが増え、即ち柔道の精神が広まる結果となりました。

一方、大相撲は柔道とは状況が少し違います。神事であるが為、伝統はより強く守るべきでしょう。その上で、土俵が女人禁制になった歴史的いきさつを良く研究し、それが相撲道の本質であり伝統といえるならば堂々と残す。また、相撲道の本質とはかけ離れている、あるいは時代錯誤ならば取り払う。相撲協会が、後世の大相撲の発展の為にしっかりと英断を下すことを望みます。

本日の卓話は「力石について」です。内容が想像できませんが、伝統ある猿田神社で猿田宮司より直接お聞きできる幸せを噛みしめながら、会長挨拶とします。

幹事報告

1. 2017-18 年度会長賞のリリースと締切日について
2. 第51回 インターアクト指導者講習会 開催案内…ガバナー事務所
3. お礼状 …茂原中央RC
4. 閉団のお知らせ …ボーイスカウト銚子第2団

【例会変更】

佐原RC

4月26日(木)5月3日(木)定款第8条第1節Cにより休会

5月10日(木)親睦旅行(5/9~10)に振替休会

会員の記念日

☆結婚記念日

加瀬 貞治会員(4月10日)

☆入会記念日

桜井 広和会員(4月5日)

寺内 忠正会員(4月5日)

木曾 功会員(4月6日)

☆創業記念日

高橋 宏明会員(4月10日)

卓話

「力石」

猿田 正城会員



猿田神社の御奥殿の左側に、直径50センチ程のタマゴ型の自然石が三個並べてあります。案内板に〈この力石は祭礼時の催物の一つとして持ち上げ、力自慢をした石です。〉とあります。その中の一つに〈奉納 世話人今三五郎 四十八貫目 猿田村藤蔵〉と深く刻まれている石があります。四十八貫目は約180kgです。人間一人で持ち上げるには大変な重さです。

力石の仕方は、一般的には世話人が主催し、土俵の上に、重さの異なる石を置き、軽い方から始めました。両手で抱え持ち、石が地面より離れば持ち上げたことになり、その高さは様々でした。



男子のみの出場で、石が体に触れてはならないとされていました。

昨年九州の宇佐神宮を参拝しました。拝殿の側に三個の力石を発見しました。一番重い石は約140kgと説明してありました。九州地方でも力石による力競べが行なわれていたことに驚きました。

力石は北は秋田県あたりまで、南は四国・九州地方まで、存在していることを調べて知りました。力石は神社だけでなく、寺院にもあります。銚子市内で一番多く残っているのは、桜井町にある子宝石で有名な菅原大神で五個です。旭市の雷神社には六個ありますが、昔は七個であったという昔話が伝えられています。

見広村の名主の家に貞吉という若者がいました。貞吉は隣村の村一番の美人と評判の高い糸という女性を嫁に欲しいと思いました。糸の父

親は雷神さまのご祭礼で行われる力石に勝ったら嫁にやってもよいと約束しました。しかし当日、貞吉は力石を持ち上げられませんでした。その夜、貞吉は力石を土の中に埋めて村から姿を消してしまったということです。

力石の本来の目的は、神様に力強い身体を授けてくれた姿を見せて感謝することにはありましたが、一方では人々に力自慢をし名誉のよこびを味わうことと又、懸賞金を得ることが目的となって行きました。そして更には貞吉の話のような〈賭け事〉にも利用されたのです。

力石の歴史は古くはなく江戸時代からのようです。日本で見られる一番古い時代のものは、埼玉県久喜市にある八幡神社の力石で、寛永9年（1632）の年号が刻まれています。銚子市で一番古いものは、植松町の和田不動尊にある石で天明2年（1782）です。江戸時代後期の文化・文政時代が最も盛んであったと考えられます。



銚子市内にある力石は、2005年に郷土史家の永澤謹吾氏が中心となって調査されました。市内には46個

の力石がありました。一番重い石は、中央町の白幡神社にあるもので、60貫目です。240kgになります。この力石は重さだけでなく文字が刻まれていて当時の銚子市が栄えていた様子を今に伝えています。例えば、世話人の名に今庄治郎・■勘次郎とあり、持ち上げた人は潮来の住人長吉、イベントの立合人には江戸飯田橋の金蔵と江戸芝の久太郎でした。文政5年（1822）に行なわれました。特に金蔵は力石の世界ではスター的存在で、静岡県三島大社で行われた時も優勝し、その力石に名が刻まれています。現在江戸を中心に金蔵の名を記す力石は19個もあります。当時の銚子市にはこのようなスターを2人も招いて祭礼を行うだけの財力があったのです。

今日の話の最初に紹介した猿田神社の力石に刻まれている猿田村藤蔵について少しお話しします。藤蔵の名が刻まれている石は、銚子港神社にも一個あります。この石は52貫目で、猿田神社の48貫目より4貫目も重い石でありました。60貫目を持ち上げた潮来の長吉には及びませんが、東総地区ではよく知られた力持ちであったようです。

〈近世猿田村誌〉という書物を書いた川島清氏に直接お話を聞いたことがあります。藤蔵は

江戸時代の末、猿田神社表参道の橋や石段を作るためにやってきた石工職人の一人でした。当時名主であった川島家の納屋に住んで、作業をしていましたが、村の顔役であった〈てきや〉の娘と結ばれ、工事が完成した後も村に居付いてしまいました。神社前の茶店にたむろして便利屋のような仕事をしていました。参拝者の乗ってきた馬の世話をしたり、荷物を持ったりして謝礼を得ていました。九十九里浜で生産された塩や干鰯などは野尻や高田の廻船問屋に運ばれましたが、神社の近くに急な坂があり、荷車を後から押す仕事は特にお金になったようです。

ある日、村の助右エ門という家の納屋から米が3俵盗まれるという事件が起きました。過日市の教育委員会が、古文書をマイクロフィルムに記録する作業をしていたところ、一枚の文書が出てきました。村に盗難事件があると村人は全員石段を上り、神様に犯人でないことを誓うことをした時のものでした。その前日に藤蔵は姿を見せなくなったということです。

猿田神社宝物殿に石に龍を彫刻した額が残っています。額縁に〈藤蔵次男石工松之助〉と刻んであり、藤蔵の子供であると思われます。

今日でも兵庫県姫路市の神明神社で行われていて無形文化財に指定されています。全国の10ヶ所程で今も行われているようです。ご清聴ありがとうございました。以上





委員会報告

永澤信親睦活動委員長



【家族親睦旅行のご案内】

旅行日：平成 30 年 5 月 20（日）

行き先：歌舞伎座

「團菊祭五月大歌舞伎」

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

ロータリー憩いの森



【出席報告】移動例会 100%

【M U】

4/12 薄暮時街頭監視（参加 8 名）



金島君
小林君
松本君
大里君
櫻井(公)君
副島君
田中君
寺内君

4/14 次年度第 6 回 AG 会議 高橋君

4/14 RAC 年次大会 小林君・丸山君

4/17 銚子東 R C 金島君

【ニコニコ】移動例会のためなし

次週のプログラム（4月25日）

「共感力」 信太 秀紀会員

お弁当：桔梗屋（幕の内）

例会終了後、力自慢の会員が挑戦！！



永澤会員 お見事！！